北海商科大学　講義概要（シラバス）

2026年度

科目名	ＰＡＬ（専門職中国語）Ⅱ	科目コード	1257	単位数	2
担当者名	複数担当教員（中国語）	開講セメスター	第6セメスター	開講年次	3年次
授業の方法	講義	到達目標	A,G	実務経験	無
ナンバリング	MCh608	※DP（ディプロマポリシー）と到達目標の関連性については、カリキュラムマップ参照			

授業のねらい

本講義は、「アジアの時代にアジアを学ぶ」という本学の教育目標に立脚して、中国と北海道地域との文化・経済の交流や発展に貢献できる人材を養成することを目標とする。
中国の経済やビジネスを知るため、中国の商業・経営用語を理解した上、中国語に関する経済・経営、およびビジネス用語を学び、中国語で紹介できることを目標とする。
また文章の書き方や翻訳の仕方を学習して、PALで学んだ語彙や表現をさらに深化させ、自分なりの見解が述べられるうえ、問題意識や課題の討論ができる実力の養成を目指す。

到達目標

到達目標として、
①引き続きHSK5～6級レベルの語彙や表現を学ぶ。
②中国の商業やビジネス用語をよく理解して、日本の経営、およびビジネスを中国語で紹介できるようになる。

授業内容

1週目 教科書「三大???分」
2週目 教科書「?行服?指南」
3週目 教科書「房地?行?」
4週目 教科書「公司?介」
5週目 教科書「??新?品」
6週目 教科書「董事会??」
7週目 教科書「生?部?」
8週目 教科書「社交网?」+　中間テスト
9週目 教科書「物流行?」
10週目 教科書「介?投?方式」
11週目 教科書「??管理??」
12週目 教科書「?境/再生利用」
13週目 プレゼン「????合同」
14週目 プレゼン「售后服?方?」
15週目 プレゼン「会?和??」
16週目 テスト。但し、やむを得ず、15週目までの授業内容を実施出来なかった場合は、補講授業を行います。

準備学修（予習・復習）の具体的な内容及びそれに必要な時間

語学力を早く上達するためには、授業内容を事前に予習、復習、そして繰り返し練習することが重要である。毎回授業の前に、教科書の内容に関連する資料を調べて30分以上予習し、その上、毎週のテーマをしっかりと取り組んで、毎回授業後に復習として本文を訳してから提出する。

成績評価の方法・基準

中間テスト、期末テストの成績を合算して評価する。HSK5・6級の成績をポイントとして合算して評価することもある。

履修上の留意点

毎回、授業に出席するのが基本である。なお、理由なく５分以上の遅刻は欠席とする。成績の評価は、授業が前16週のうち、11週以上出席した学生を対象にする。
PALⅡの履修は前期PALⅠの成績がB評価以上を条件とする。
また、やむを得ずオンラインで受講する場合、カメラを解除して受講することが必須な受講条件とする。

課題に対するフィードバックの方法

フィードバックの方法としては、課題練習や宿題などをチェックしてから、自己点検を行わせる形で行う。

テキスト

大羽りん・趙 青編著『商経学部生のための読む中国語』白水社　2200円+税

参考書

HSK5～6級単語帳・過去問

更新日付

2026/01/09 05:26